

日本脊椎脊髄病学会 平成 25 年度第 2 回国際委員会議事録

平成 25 年 5 月 24 日（金） 7 時～8 時

場所：リーガロイヤルホテル広島 12F 「フリーズア」

出席： 松山幸弘理事、湯川泰紹委員長、金山雅弘、川原範夫、小西宏昭、矢吹省司 各委員
富士武史アドバイザー

欠席： 田中雅人、豊根知明、根尾昌志、長谷川和宏 各委員
岩崎幹季、山田 宏アドバイザー

1. English poster session(award)を含めた英語セッションのあり方、次期学会への要望
本年と同様の形式での開催を要望する。演題募集については、応募演題数の増加をめざして海外の A0 メンバーへの働きかけも行っていく。
2. 次回学会へのアジアからの招待医師候補の決定
アライアンスを締結している韓国、台湾の会長を招待する予定である。そのほか、アジアトラベリングフェローへのアンケートなどをもとに、フェロー受け入れ施設の若手医師も候補とする。
3. アジアトラベリングフェロー訪問先の新規開拓
これまでのフェロー受け入れ施設のうち、タイを中心にトップの交代により連絡がとりにくくなっている施設があるので、引き続き連絡を密にする。新規開拓（とくにインド等）については、アジアビジティングスカラーに積極的に関与していただくこととなった。
4. 国際委員会予算の維持、獲得への努力
これまで支援のほとんどが器械メーカーからのものであったが、今後は製薬メーカーからも支援が得られるよう努力する
5. アジアトラベリングフェロー、ビジティングスカラーのあり方、発展
アジアトラベリングフェローについては従来どおりとする。ビジティングスカラーについては、応募がない場合、国際委員会から推薦する。（2 名分の予算あり）
6. 招待医師へのおもてなしについて
沖縄での学会では、晚餐会、観光などの企画を行い、招待医師に好評であった。次回学会の際にも、同様の企画を行う。費用については国際委員会予算より計上する。
7. 海外渡航時の安全確保対策について
中国、香港で発生した新型鳥インフルエンザウイルス感染の事象から、問題が提起された。訪問先の割り当ては国際委員会が行っており、渡航についてはフェローの意思確認が必要である。国際委員会として、渡航前にフェローに意思確認を行うこととなった。また、所属施設から注意喚起などが出ている場合はそれに従う。情勢によっては、国際委員会として、訪問先の変更についても検討する。
8. その他
次回委員会の開催は、2013 年 10 月 25 日もしくは 26 日 7:00～（日本脊椎インストゥルメンテーション学会期間中）の予定である。（担当理事と調整して後日連絡いたします。）